

# 自動車・蓄電池のサプライチェーンデータ連携

～「ウラノス・エコシステム」で実現する

業界横断のトレーサビリティ～

— 講師 —

一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター (ABtC)

代表理事 藤原 輝嘉 氏

日時 2024年12月16日(月) 午後1時～3時  
受講方法 会場受講/ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

ウラノス・エコシステムは、サイバー空間と物理空間の高度な融合により産業発展と社会課題解決を目指す取り組みである。その先行ユースケースとして、自動車産業と蓄電池産業の協調および産官学連携プロジェクトを通じて蓄電池のトレーサビリティのアーキテクチャ設計が行われるとともに、これを社会実装する主体として ABtC が設立された。

ABtC は今年5月にサービス開始し、9月には日本初の「公益デジタルプラットフォーム事業者」の認証を取得した。これらの背景と具体的な取り組み、産業競争力の向上に向けた今後の展望を紹介する。

1. ウラノス・エコシステムの概要
2. 自動車・蓄電池業界を取り巻くトレーサビリティの課題
3. 産官学連携プロジェクト
4. データ連携のエコシステムを実現するアーキテクチャ
5. ABtC を通じたトレーサビリティの社会実装
6. 産業競争力の向上に向けた今後の展望
7. 質疑応答/名刺交換

## PROFILE 藤原 輝嘉(ふじわら てるよし)氏

自動車産業において20年以上、モノづくりのデジタル化に従事。業界横断、官民連携によるトレーサビリティの取り組みを社会実装するため、今年2月に「自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター」を設立、代表理事を務める。データ連携に関する産官学の様々なプロジェクトや検討会等に参画。

